



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5458 URL http://www.takasago-t.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大植 啓一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 畑田 正樹 TEL 03-5399-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,692	△6.1	159	△46.7	125	△44.7	153	△15.4
27年3月期第2四半期	4,995	1.3	298	179.0	226	472.6	181	△22.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 155百万円 (△20.8%) 27年3月期第2四半期 196百万円 (△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.10	—
27年3月期第2四半期	6.03	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	8,683	1,858	21.4	61.88
27年3月期	9,238	1,702	18.4	56.70

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,858百万円 27年3月期 1,702百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	△2.8	360	△30.6	290	△29.7	280	△22.6	9.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	30,080,000株	27年3月期	30,080,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	50,374株	27年3月期	50,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	30,029,626株	27年3月期2Q	30,029,713株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 平成28年3月期の期末配当予想額につきましては、経営環境の先行きが不透明であり、業績の不確定要素も多いことから現時点におきましては未定とさせていただきます。予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景に、景気は全体として緩やかな回復基調を維持しているものの、中国経済の減速、資源需要の低迷、世界的な株安、為替動向等が連鎖し、世界経済の悪化が懸念されるなど不透明な状況で推移いたしました。

鉄鋼業界におきましては、国内外での鋼材需要が力強さを欠き、在庫調整を意識した生産抑制が継続する等、調整局面が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループは、新中期計画（平成27～29年度）を策定し、鉄鋼製品事業において、みがき帯鋼事業およびステンレスエンボス製品、加工品事業に集中する事業体制の下で収益体質強化と強靱な財務体質確保に取り組んでおります。

主力のみがき帯鋼においては、自動車業界での生産・販売の伸び悩みから需要回復は想定に届きませんでした。一方、ステンレスにおいては子会社での加工販売は市況低迷により苦戦したものの、輸出が順調に伸び円安効果も収益に貢献いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,692百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益159百万円（前年同期比46.7%減）、経常利益125百万円（前年同期比44.7%減）となりました。繰延税金資産計上による法人税等調整額の調整等により親会社株主に帰属する四半期純利益153百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は8,683百万円となり、前連結会計年度末より555百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金と土地の譲渡ならびに減価償却による有形固定資産の減少によるものです。

負債総額は、6,825百万円となり、前連結会計年度末より710百万円減少いたしました。これは主に借入金と社債の減少によるものです。

純資産につきましては、1,858百万円となり前連結会計年度末より155百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の当四半期における修正につきましては、平成27年10月30日発表の「平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、個別業績予想の当四半期における修正につきましてもあわせてご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組換えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,382	1,342
受取手形及び売掛金	2,486	2,333
商品及び製品	484	481
仕掛品	401	293
原材料及び貯蔵品	290	351
繰延税金資産	3	65
その他	29	36
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	5,075	4,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,211	1,165
機械装置及び運搬具(純額)	2,131	1,965
土地	489	332
その他(純額)	49	46
有形固定資産合計	3,882	3,510
無形固定資産	65	63
投資その他の資産		
投資有価証券	101	100
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	59	59
その他	90	85
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	214	208
固定資産合計	4,162	3,782
資産合計	9,238	8,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,192	2,178
短期借入金	1,616	1,226
リース債務	80	79
未払法人税等	18	26
未払消費税等	66	32
賞与引当金	56	61
その他	457	438
流動負債合計	4,487	4,041
固定負債		
社債	875	750
長期借入金	866	738
リース債務	250	210
繰延税金負債	3	3
役員退職慰労引当金	97	107
退職給付に係る負債	841	863
資産除去債務	32	32
その他	81	77
固定負債合計	3,048	2,783
負債合計	7,535	6,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	230	383
自己株式	△6	△6
株主資本合計	1,728	1,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	4
退職給付に係る調整累計額	△30	△27
その他の包括利益累計額合計	△25	△23
純資産合計	1,702	1,858
負債純資産合計	9,238	8,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,995	4,692
売上原価	4,249	4,063
売上総利益	746	629
販売費及び一般管理費	448	470
営業利益	298	159
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
為替差益	0	—
その他	9	3
営業外収益合計	10	5
営業外費用		
支払利息	57	35
社債発行費	20	—
その他	6	4
営業外費用合計	83	39
経常利益	226	125
特別損失		
固定資産売却損	—	13
訴訟和解金	9	—
特別損失合計	9	13
税金等調整前四半期純利益	216	111
法人税、住民税及び事業税	16	19
法人税等調整額	19	△61
法人税等合計	35	△41
四半期純利益	181	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	181	153

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	181	153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整額	15	2
その他の包括利益合計	15	2
四半期包括利益	196	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196	155



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。